

平成25年度事業報告

I. 一般事項

平成25年度は、当協会が30周年を迎えるに際し多くの記念事業を開催いたしました。会員はもとより、多数の来賓参加のもと盛大に挙行することができました。

記念式典では、沖縄県知事、那覇市長、総合事務局次長からの祝辞もあり、又永年勤続表彰や、記念講演会等も盛大に開催することができました。

当協会は、創立30周年を機に、さらには平成25年4月1日発足の一般社団法人への移行のもと、本来の目的である建築設備の設計・監理業務の進歩改善と設備設計事務所の業務環境改善と資質の向上に努め公共の安全で健康な環境の確保に寄与することを今後とも推進することが必要である。

II. 具体的な活動内容

1. 建築設備に関する人材の育成のため、当協会 から4名の非常勤講師を沖縄職業能力開発学校へ派遣した。受講生は専門過程、住居環境課2年生であった。授業時間は平成25年10月～平成26年2月までの36時間である。

2. 広報誌（記念誌）の発刊

建築設備等の知識に関する普及啓発及び情報の提供のため広報誌1,000部を発刊し、一般県民及び公共関係機関へ配布した。なお広く知らすため、ホームページにも掲載した。

3. 施設見学会

本業は沖縄県内の環境対策に関する建築設備の知識向上を図ることを目的とし沖縄の環境気象条件が類似する台湾の国立成功大学校を見学し、低価で省エネ性の高い施設を見学することにより今後の沖縄県の環境技術の向上に寄与するものである。参加者15名であった。

4. 社会福祉事業への積極的協力

(1) 沖縄平和委員会へ寄付金の贈呈

平和委員会会長仲井眞弘多あて「沖縄平和賞」の趣旨である。沖縄と地理的・歴史的かかわりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人、団体への顕彰金として寄付を行った。

(2) 公益財団法人沖縄県交通遺児育成会への寄付金の贈呈。

交通遺児等が強く明るく成長し、有益な社会人となるようにとの健全育成を目的として奨学金・見舞金としての寄付金を贈呈した。

5. 記念講演会

演題は中小企業の現状と今後の課題について、講師は未来工業（株）取締役相談役山田晴男氏により開催された。

参加者は150名程度で盛況に終了した。

6. 建築設備の定期検査受付業務の実施

建築基準法第12条にもとづく建築設備等の定期検査の窓口受付業務を実施、今年度も300件程度の受付業務があった。特殊建築物の所有者の定期報告の義務の報告率アップに努め、県民の安心・安全のために建築物の維持保全に努めた。

7. 相談事業

建築設備に関する相談及び苦情処理

協会事務局に無料相談所を設置した。主な相談内容としては、電気配線等の相談並びに給排水等のトラブル等の相談で、協